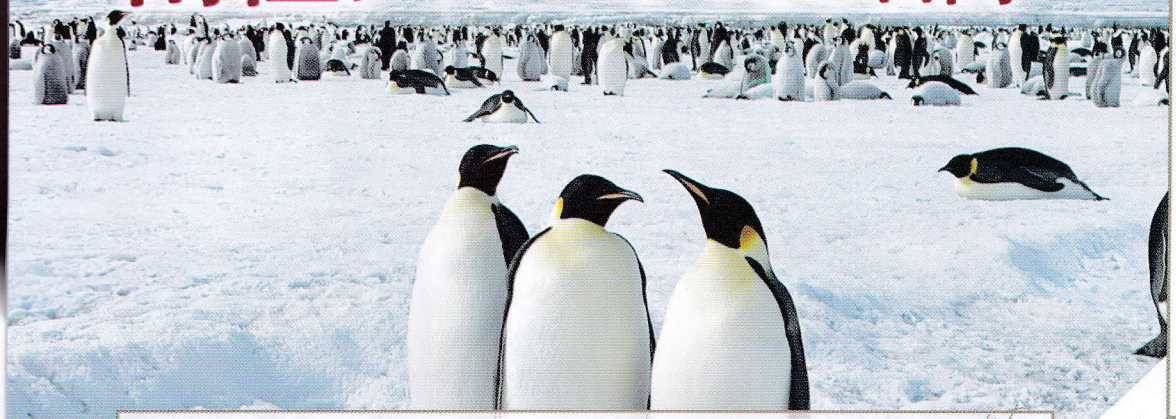
砕氷船 ル・コマンダン・シャルコーで航く

皇帝ペンギンのウェッデル海へ 南極クルーズ18日間



クルーズポイント

Cruise point

- 皇帝ペンギンの営巣地 スノーヒル島への上陸する希少なツアー。
  これまで皇帝ペンギンの営巣地へは船＋ヘリコプター＋徒歩で訪れなければならなかったため、非常にハードルが高く、ほんの一握りの方しか行くことができませんでした。しかし極地観測船と同等の砕氷能力を持つル・コマンダン・シャルコーだからこそ、船＋徒歩で訪れることができます。
- 砕氷能力のある船だからこそ、氷の多いウェッデル海を航行できます。
  氷に覆われた世界を航行すること、南極半島西側とはスケールが違う氷山をご覧いただけることは大きな魅力です。
- 貴重な南極に最大14回程度（予定）上陸体験!
  自然条件の許す限り午前、午後の1日2回の上陸チャンスがあります。
  ※上陸回数は天候等により変更となる場合がございます。
- 11月は南極の春にあたり、ペンギンが巣作りを始めます。
- 南極を熟知した講師陣が乗船
  船内で南極講座を開催し、添乗員が日本語でご案内します。
  更にエクスペディションリーダーとして伊知地亮氏の乗船が決定。
- 船内はフリードリンク!

シャチ
時速60～70kmにも達する泳ぎの達人。知能が高く、多くの生物をどう猛に捕食します。

デビル島

アホウドリ
翼を広げた大きさは3メートル以上にもなります。風の強い高所から弱い低所に急降下し、勢いと風力の差を利用して再び高所にあがります。

極地に特化した最新鋭の ラグジュアリー船

ル・コマンダン・シャルコー
Le Commandant Charcot

Ship Data
- 就航年:2021年
- 総トン数:30,000トン
- 全長:150m
- 乗客定員:245名(南極クルーズ中は200名に制限されます)／乗組員:215名
- 船籍:フランス／砕氷船(PC2)

最新船「ル・コマンダン・シャルコー」は液化天然ガス（LNG）に対応した、世界初のハイブリッド砕氷船。

極地客船とは思えない“船内施設”の数々

●9階船尾にある「Inneq（イネク）」はオープン・エア・バー。食事もでき、その周りにはプール「ブルーラグーン」が。水温は27～37度に保たれ、極地でもプールから風景が見られる

食事

料理はミシュランシェフ、アラン・デュカス氏監修!

フランス船ならではのグルメと、魅力的な寄港地にインスパイアされた料理をご提供いたします。新鮮で厳選された食材の数々、熟成チーズ、グランクリュ格付けのワインが更に料理をおいしくします。

客室

全室バルコニー付きで十分な広さと快適さ。シャワーとトイレが別々なのも好評です。

プレステージステート

デラックススイート

南極の動物たち

皇帝ペンギン

全長115～130cmの最も大きなペンギン。潜水は鳥類の中で最も得意とし、水深500mにまで潜ることができる。

サンティアゴ

5,000m級のアンデス山脈の西麓、マポチョ川々畔に広がるチリの首都。1541年スペイン征服者により創設。

ジェンツーペンギン

目から頭頂部への白の模様が特徴的。上からはターバンのようで、お洒落な女性のよう。黄色からオレンジ色の足も特徴的。

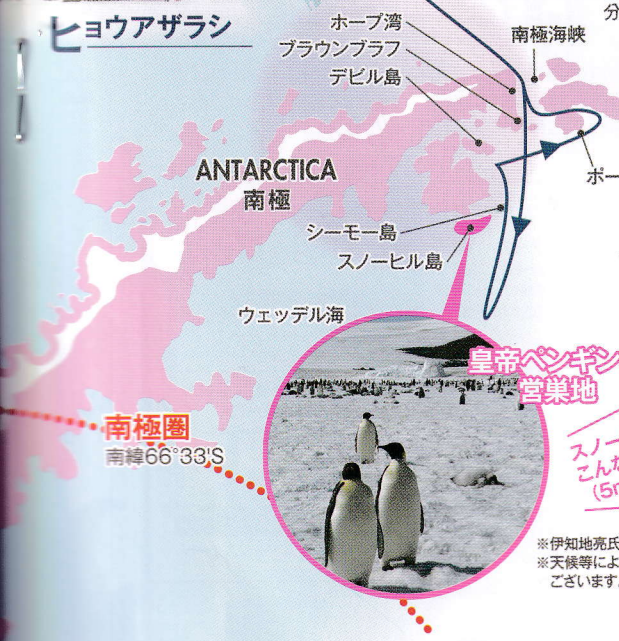
ポーレット島

ドレーク海峡

ザトウクジラ

体長11～17mの南極で最もよく見られるクジラ。他のクジラと比べて大きな胸ビレを持ち体長の3分の1にもなります。

ヒョウアザラシ



皇帝ペンギンの営巣地

スノーヒルの営巣地こんなに近くで見れます(5mまで近寄れます)

※伊知地亮氏 2022年11月撮影
※天候等によりご覧いただけない場合もございます。

●出発地：東京（成田または羽田）　●添乗員： 同行します。
●日本発着時利用航空会社:アメリカン航空（AA）、デルタ航空（DL）、ユナイテッド航空（UA）
●利用ホテル:サンティアゴ:ザ リッツカールトン サンティアゴ（Lグレード）または同等クラス
●最少催行人員 :6名様
●旅券（パスポート）の残存期間は旅行最終日から6ヶ月必要となりますのでご注意ください。

1 11/15（水）		16:00～18:30	東京（成田または羽田）発✈米国内都市乗り継ぎにて サンティアゴへ ---------- 日付変更線通過 ---------- □□機 機中泊
2 11/16（木）	チリ	08:00～10:00 午前	サンティアゴ着 着後🚌サンティアゴ観光（所要約3時間） （◎大聖堂、◎アルマス広場、◎モネダ宮殿） 昼食後、ホテルへ 機昼夕 サンティアゴ泊
3 11/17（金）	チリ アルゼンチン	早朝 午前 午後 夕刻	空港へ サンティアゴ発✈船会社チャーター便にてウシュアイアへ ウシュアイア着　着後🚌港へ（混乗） ル・コマンダン・シャルコーに乗船 ウシュアイア出港 朝□夕 船中泊
4 11/18（土）～5 11/19（日）	アルゼンチン	終日	ドレーク海峡クルージング 南極大陸に向けて、ドレーク海峡を縦断します。 船内では南極の野生動物などに関する講演を行います。 朝昼夕 船中泊
6 11/20（月）～12 11/26（日）	南極	終日	南極半島／ウェッデル海クルージング ロバートポイント、スノーヒル島、ラーセン棚氷、デビル島、ポーレット島、ロバートソン島、ヘロイナ島などの中から上陸可能なポイントを選び、1日2回程度上陸予定（7日間チャンスあり!）南極の魅力を満喫します。 注:ゾディアックボートでの上陸は悪天候や氷の状態により変更、キャンセルされる可能性がございます。 ロバートポイント　ヒゲペンギン、ミナミオオセグロカモメ、マダラフルマカモメなどが営巣しています。多数のミナミゾウアザラシがたびたび浜辺に姿を現します。 スノーヒル島　スノーヒル島には4,000ペアの皇帝ペンギンとそのヒナたちが繁殖しており、そのコロニーは滅多に訪れることができません。 ラーセン棚氷　ウェッデル海の北西部に位置し、大きく三つの棚氷で構成される。1995年と2002年にそのうち二つの棚氷で大規模な崩壊が起こり、地球温暖化の影響によるものと考えられている。 デビル島　島の両端に低い頂を持つ長さ1.6kmの細長いデビル島は、1901～04年にかけて行われたスウェーデンの南極探検隊によって発見されました。 ポーレット島　標高352mの円錐形の火山島で、アデリーペンギンの巨大な営巣地があります。　朝昼夕 船中泊
13 11/27（月）・14 11/28（火）	アルゼンチン	終日	ドレーク海峡クルージング 南米大陸に向けて、ドレーク海峡を縦断します。 朝昼夕 船中泊
15 11/29（水）	アルゼンチン チリ	7:00頃 午後 夕刻	ウシュアイア入港 下船後🚌空港へ（混乗） ウシュアイア発✈船会社チャーター便にてサンティアゴへ サンティアゴ着 着後、ホテルへ　朝□夕 サンティアゴ泊
16 11/30（木）	チリ	午前 15:00 夜 22:00～23:30	マイポ・バレーにてワイナリーツアー ワインテイスティングをお楽しみください。（所要約3時間） ホテルにて出発までお休みください。 🚌空港へ サンティアゴ発✈米国内都市乗り継ぎにて帰国の途へ　朝昼□ 機中泊
17 12/1（金）			---------- 日付変更線通過 ----------
18 12/2（土）		15:00～18:30	東京（成田または羽田）着 機□□

※上記クルージングの日程・上陸箇所等は天候などにより変更または上陸不可能になる可能性がございますので、予めご了承ください。※■■■■=ゾディアックボートでの上陸が可能。

ご注意 ※発着時間・交通機関・寄港地は場合によって変更となる場合があります。
現地通貨 ※チリペソ、アルゼンチンペソとなりますが、米ドルもご利用いただけます。

■出発日／旅行代金（1名様/2名1室利用）コース U T S Y A - キャビン

出発日	客室タイプ	エコノミークラス席	ビジネスクラス席	お1人部屋追加代金
2023年 11月15日（水）	プレステージステート（デッキ6）	5,000,000円	6,600,000円	3,200,000円
	デラックススイート（デッキ6）	5,300,000円	6,900,000円	3,400,000円
	プレステージスイート（デッキ7）	6,500,000円	8,100,000円	4,500,000円
	グランドプレステージスイート（デッキ6）	7,000,000円	8,600,000円	4,800,000円

※燃油サーチャージは旅行代金に含まれません。※燃油サーチャージ（概算94,000円）、海外空港諸税（概算10,530円）、国内空港諸税（成田発着2,130円、羽田発着950円）および施設保安サービス料（成田発着530円、羽田発着370円）、国際観光旅客税（1,000円）が別途必要になります。（いずれも2023年1月12日現在の額です）
※ビジネスクラスは東京～サンティアゴ間のみの利用となります。

■キャビンコード

	平米数	設備	エコノミークラス席		ビジネスクラス席	
			1名1室/2名1室	3名1室	1名1室/2名1室	3名1室
プレステージステート（デッキ6）	約25㎡	バルコニー・シャワー付	1	—	A	—
デラックススイート（デッキ6）	約33㎡	バルコニー・シャワー付	2	—	B	—
プレステージスイート（デッキ7）	約50㎡	バルコニー・シャワー付	3	7	C	G
グランドプレステージスイート（デッキ6）	約47㎡	バルコニー・バスタブ付	4	8	D	H